

ボランティア活動報告

平成23年10月30日(日)

第31回大分国際車いすマラソン大会へ17名のボランティアさんが参加

当日は、朝から雨模様で、選手にとってもボランティアさんにとってもコンディションの悪く、みなさんとても頑張って活動してくれました。

参加された皆さま、大変お疲れ様でした。

今年の第32回大会は、10月27・28日の予定です。ご参加をお待ちしております。



平成24年度「ボランティアの保険」随時受付中!!

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償するために各種保険があります。現在、24年度の保険加入を随時受付中です。

補償期間は、平成24年4月1日～平成25年3月31日までの1年間です。継続の方も新規の方もお手続きはお早めにするほうがお得です!

※災害支援活動に行かれる方は、加入が必要条件です。!

- ボランティア活動保険
- ボランティア行事用保険
- 福祉サービス総合補償
- 送迎サービス補償

～研修会・イベント情報～

平成24年度福祉ボランティア専門研修委託先募集開始

7月上旬 ボランティアコーディネーター研修会

7月～8月 夏のボランティア体験月間

8月下旬 ボランティア・NPO推進大会

(開催地:佐伯市内 基調講演に大林宣彦監督を調整中!)

詳しい情報は随時HPIに掲載していきます(´▽`)/

中古テニスボールをありがとう!!

頂いた中古テニスボールは、臼杵市の小中学校や支援学校の机やイスの騒音防止に利用され、大変喜ばれています。

古切手やテレホンカードをありがとう!!

本年度も個人や企業様他ボランティアグループなどの団体からたくさんのご協力を頂きました。その他、会館のBOXに入れてくださった方や、郵送で送ってくださった皆さまありがとうございました。

大分県盲人協会さんの協会活動費に役立てられます。



ホームページもあるよ!!
<http://www.oitavoc.jp>

お気軽にどうぞ!
大分県ボランティア・市民活動センター
開所時間 8:30～17:15 (平日)

利用料無料です!!
ボランティア・市民活動ルーム
開室時間 9:00～20:30 (月～土曜日)
9:00～16:30 (水・日曜、祝日)
* 平日の17:00以降と土・日・祝日は要予約

県ボラ活用情報

この度、3月19日より大分県ボランティア・市民活動センターは、大分県総合社会福祉会館1階から2階へお引越しました。ボランティア・市民活動ルームのご利用は引き続き1階です。ご利用の際は、事前予約が必要です。お気軽にお問合せ下さい。

また、1階の掲示板には引き続きボランティア情報を掲示していきます。会館にお寄りの際は、お気軽にお立ち寄りください。さらに、4月よりNPO・ボランティアセンターが

お隣に引っ越してきます。今までよりもたくさんの情報がご提供できますように、身近なボランティアセンターを目指してまいります。

ボランティア・市民活動情報誌

ぼらのたね

URL <http://www.oitavoc.jp> E-mail oitavoc@oitavoc.jp
～ボランティアの種を蒔いて育てよう～

発行所
社会福祉法人 大分県社会福祉協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
〒870-0907
大分市大津町2丁目1番41号

お問合せ先
TEL (097) 558-3373
FAX (097) 558-1296

No. 22

東日本大震災から1年 被災地応援活動の紹介

この1年間を通じて、県ボラでは、東北に向けて様々なカタチの支援活動を行ってきました。今回は、特集としてこの1年間の被災地支援活動をご紹介します。

輪っか和っかプロジェクト

つながる心をカタチに～日本まるごと「輪」になる「和」になる活動～

大分で出来る被災者支援ということで、被災地への励ましのメッセージを書いた色紙の短冊を輪にしてつなげ、東日本大震災の被災地の届ける「輪っか和っかプロジェクト」に取り組みました。個人の方や、施設や老人クラブ等の団体の方から届けられた色とりどりの短冊を「輪っか」にして鎖状につなげたものを、被災地の避難所や保育所に届けました。



災害ボランティアバス「めじろん号」

6月12日(日)から18日(土)までの1週間の日程で、大分から宮城県気仙沼市に災害ボランティアバスを運行し、70代から20代の男女併せて35名のボランティアと施設ボランティア5名が参加しました。

片道27時間という長距離をバスで移動の後、現地では、田んぼの「がれき」の片付けや魚市場でのコンテナの洗浄、民家の床下からの泥出しなどの活動を行いました。



ふくしまっ子応援プロジェクト

福島第一原発の事故の影響で、外で遊ぶことの出来ない福島県南相馬市の小学5年生30名を12月25日から28日までの3泊4日の日程で、大分県内の9団体でつかった「ふくしまの子どもたちを大分に招待しよう実行委員会」が中心となって招待しました。

子ども達は、野津町の民泊農家に宿泊し、臼杵市野津町や佐志生小学校の子ども達と一緒に餅つき大会などを行い、地域の方との交流を深めました。また、「セントレジャー城島高原パーク」や「うみたまご」にも行き、大分のレジャー施設で思い切り遊んでもらいました。

今回このプロジェクトの資金はすべて、プロジェクトにご賛同くださった県民の皆さま方、団体等から寄せられた募金によって賄うことができました。

ご協力頂いた皆さま、大変ありがとうございました。

なお、ご協力頂いた団体等は、当センターHP「ぼらのたNet」にて掲載しております。



竹炭を被災地へ

東北で支援をしていた活動者の方から、津波等で被害に遭われた家屋等の床下などの湿気や臭いを取るために竹炭を敷きたいという要望で、大分県内の支援者から竹炭を集め、大分県トラック協会や日本通運(株)のご協力、9月より3月までに岩手県と宮城県に合計4回竹炭をお送りしました。また、竹炭を送る送料は、被災地NGO協働センター(神戸市)が窓口となり、日本財団よりご支援いただきました。



3.11を忘れない

ボランティアや支援活動を考えているみなさんへ

1. 今後、被災地でのボランティア活動を希望されている方は、被災地に入る前に、まずはしっかりご自身の確かな情報を入手してください。
2. 十分な準備をお願いします。
3. 出発前に必ず、ボランティア保険(天災プラン)に加入してください。

また、被災地に行かなくてもできる復興支援活動にもいろいろなカタチがあります。

小さなことからでも、自分に出来ることを少しずつ継続して東北を応援していきましょう。

災害ボランティア情報のサイト

- 全社協 被災地支援・災害ボランティア情報
<http://www.saigaivc.com/>
 東日本大震災支援全国ネットワーク (JCN)
<http://www.jpn-civil.net/>
 yahoo!ボランティア
<http://volunteer.yahoo.co.jp/>
 みんなのボランティア
<http://hatalike.yahoo.co.jp/aid/p/volunteer/>
 ボランティアプラットフォーム
<http://b.volunteer-platform.org/>
 助け合いジャパン
<http://tasukeaijapan.jp/>
 ボランティアジャパン
<http://volunteerjapan.jp/>
 ニコニコボランティア
<http://volunteer.nicovideo.jp/>



昨年の3月11日に発災した“東日本大震災”では多くの方が心を痛み、地理的に遠い大分県からも何か支援ができないものかと、大分県が呼びかけた物資の提供や、義援金・ボランティア活動支援金に募金をされたことだろう。もちろん、現地に赴き、支援活動を行なった方も少なくない。当センターで把握できているボランティア天災保険への加入者が激増していることからよくわかる。

それでは、一年経った被災地ではどうだろう。被災地で支援活動を継続している活動者からの報告を聞くと、まだまだ多くの方の生活が安定せず、先の見通しも立たないまま、今を必死で生きているという感否めない。

私たちに出来ることは、被災地を、被災者を忘れないということと、継続した支援を行うということ。そのためには、被災地の今を、真実を知り、支援する必要がある。当センターでも継続して被災地からの発信を伝えていきたいと思っている。

また、一年経ったということで、色々な団体がこれまでの活動報告をまとめている。今日はその一部をご案内したい。まずは、「震災がつなぐ全国ネットワーク」が被災地での足湯を通じて拾った、被災者一人の“つぶやき”を項目別に整理した冊子だ。このつぶやきは、東京大学の先生方を中心とする“被災地支援ネットワーク”が現在分析を行なっている。それも今後の支援体制には重要な資料になってくると思われるが、まずは被災者の声を受け止めて欲しい。もう一つは、福島県の劣悪な避難所生活を、外部の支援者が入ることによって改善していった記録“ビッグパレットふくしま避難所記”の「生きている 生きてゆく」をご紹介したい。避難所での声が掲載されていると同時に、外部支援者と共に避難所の改善を試みた、福島県職員

“天野和彦”氏のインタビューが巻末におさめられている。

このように、被災者に寄り添った活動を行なっている団体の報告書を読むことによって、被災地の真実を知り、何を大切に、何を準備しておくべきなのか、自分達の備えを今一度見直し、地域住民で考え、出来る限りの準備を行なって欲しい。



『生きている生きてゆく』
 ビッグパレットふくしま避難所記
 発行:「ビッグパレットふくしま避難所記」
 発売:(株)アム・プロモーション
 ISBN 978-4-944163-43-4



日本財団ROADプロジェクト
 〈震災がつなぐ全国ネットワーク〉
 『週刊つぶやき』
 ~1万人のつぶやきから~
<http://road-nf.typepad.jp/michi/2012/03/136-bbc1.html>



ボ ラ ン テ ィ ア グ ル ー プ 紹 介

デジタルカメラボランティア「しゃぼらん」

昨年開催した、「デジタルカメラボランティア養成講座」の受講修了者で結成したボランティアグループです。

現在、福祉関係団体や福祉施設等からの依頼により撮影活動をしており、これまでに延べ11名が活動しています。

今後も腕を磨きつつ、依頼があればご要望に応じて出かけていきます。



おもちゃ修理のボランティア「おもちゃドクター」

今年1月に、日本おもちゃ病院協会主催『おもちゃドクター養成講座』の受講修了者で結成したボランティアグループです。

現在、受講者50名は、各地域に分かれて「おもちゃドクター」として地域デビューするために、県内各地で特訓を開始しています。

今後の活動が期待されます。



現在、活躍の場をご提供してくれる、施設や団体等を随時受付中。
 お気軽にお問合せ下さい。

<すべてのお問い合わせは>
 大分県ボランティア・市民活動センターまで
 TEL 097-558-3373
 mail otiavoc@oitavoc.jp